

社会貢献・連携活動の概要

社会貢献活動（公共事業、環境問題、研究成果還元等）、大学間、高大間、産官学間、地域社会等との連携活動の特長等を紹介する。

健康福祉学部は創立以来最も歴史が古く健康栄養学科による食育を中心とする社会貢献活動、ついで設置された社会福祉学科による健康福祉実践センターを中心とする活動が活発である。前者の活動は佐賀県並びに大学がある神崎市と協定を結び、食育に力を注いでいる。特に今年佐賀県で平成 22 年度に開催された食育推進全国大会において、「あすなる隊」を中心とする学生ボランティア団体に内閣特命担当大臣表彰が授与されたことは特筆に値する。「あすなる隊」は県全体を対象に食育に関する教育的な活動を展開している。

後者の社会福祉学科を中心とする社会福祉活動は、地域の高齢者を対象に息の長い活動を展開している。また、臨床心理相談等のほかに在宅の障がい児・者を対象に心身の活性化を目的に集団療法の実施、家庭でも親子でできるような援助法の学習も行っている。このような試みを教育に取り込む一方、このような取り組みが学生にも伝播し、学生のボランティア活動も盛んになるという好循環をもたらしている。

環境問題に関しては平成 22 年度に「西九州大学における環境保全計画」をスタートさせた。取り組みの方針としては、学生と共に取り組むことにより学生が実践活動を通して二酸化炭素削減の重要性を理解し、地球環境についての知識を涵養する。それにより、環境に配慮した生活の習慣化および行動ができる人材の育成に努める、としている。そのための実施体制並びにアクションプランを策定した。